

令和4年度郷田小学校学校図書館「どのように学ぶか」系統表

探究のサイクル⇒⇒⇒ 「郷田チャレンジサイクル」		1 課題の設定 「みつける」	2 情報の収集 「あつめる」				3 整理・分析 「ならべてくらべて 考える」		4 まとめ・表現 「まとめる・つたえる」	5 振り返り・評価 「ふりかえる」			
育てたい子ども像	基盤としての図書館の 利用指導↓	課題意識の醸成・ 問いの生成	(1)フィールドワーク	(2)ライブラリーワーク		(3)ラボラトリー ワーク	(4)情報の取り出し	(1)言語	(2)数量	(1)発信・提案(口 頭)	(2)発信・提案(文 章)	特別活動など	
		書くア	話す聞くエ	図書資料(参考図 書) 社会	市情報活用教育系 統表より	理科 実験	読むウ言語(2)	話す聞くア 書くア 言語(2)	算数(データの活用 知識技能)	話す聞くイオ	書くイウエ		
低 学 年	○学校図書館の使い方 を知り、進んで学習に取り 組む子ども	以下について理解する ○学校司書の役割 ○図書館資料の貸借 ○読みたい本の場所 ○市立図書館の利用	○経験したことや 想像したことから 書くことを見つける ※INふるさと郷田	○話し手が伝えたいこと や自分が聞きたいことを 落とさないように集中し て聞き、感想をもつ ・声に出して確かめる ・尋ねる、応答する	○簡単な図鑑 ※目次・索引を知 る	○基本操作 ○写真を撮る ○リンク集の利用	○やってみる (生活科)	○重要な語や文を考 えて選び出すこと ○書き抜き ○簡単な情報カード またはその代替とし てのふせん	○話題を決め、伝え合うために必要 な事柄を選ぶ ○必要なことを集めたり確かめたり して伝えたいことを明確にする ○共通、相違、事柄の順序など情報 と情報との関係について理解する	○ものの個数について、簡単な絵や 図に表したり、それらを読み取った りする ○簡単な表やグラフを用いて表した り、読み取ったりする	○相手に伝わるよ うに話す順序を考 える ○相手の発言を受 けて話をつなぐ	○事柄の順序に 沿って簡単な構成 をを考える ○内容のまとめ がわかるように書 き表す	○キャリアパス ポートの活用 ○学習の過程と結 果を評価する ・調べ方は? ・伝わり方は? ・付けたい力?
中 学 年	○学校図書館等の効果的 な活用の仕方について考 え、主体的に学習に取り 組む子ども	○NDC分類(0~9類) ○辞典や図鑑の利用 ・目次・索引 ○郷土資料館の利用	○経験したことや 想像したことから 書くことを選ぶ ※ABOUTふるさと郷田・江津	○必要なことを記録した り質問したりしながら聞 き、話し手が伝えたいこ とや自分が聞きたいこと の中心を捉え、自分の考 えを持つ・質問・メモを 取る・アンケート・聞き 取り調査・見学・調査	○辞書や事典の使 い方を理解し使う ・国語辞典・漢字 辞典・地図帳・百 科事典 ※目次・索引を使 う	○電子データの保 存、呼び出し ○キーボード入力 (ローマ字) ○ズーム機能を活 用した写真撮影 ○検索エンジンの 利用	○差異点や共通点 を基に問題を見出 す ○根拠ある予想や 仮説を発想する	○情報を比較・分類して伝えたいこ とを明確にする ○考えと理由・事例、全体と中心な ど情報と情報との関係について理解 し使う ○比較や分類の仕方を理解し使う	○日時や場所の観点からデー タを分類整理し、表に表したり読ん だりする 棒グラフ ○データを二つの観点から分類整理 する方法を知る 折れ線グラフ	○相手に伝わるよ うに理由や事例を 挙げながら話の中 心が明確になるよ う話の構成を考 える ○意見の共通点や 相違点に着目して 考えをまとめる	○中心を明確にし た文章の構成 ・内容のまとめ りで段落をつくる ・段落相互の関 係に注意 ○考えとそれを支 える理由や事例と の関係性を明確に する	○キャリアパス ポートの活用 ○単元の終わりだ けではなく、活動 のまとめごと に振り返る ○学習の過程と結 果を評価する ・調べ方は? ・伝わり方は? ・付けたい力?	
高 学 年	○適切な情報の収集や活 用の仕方について考え、 主体的に学習に取り組 む子ども	○請求番号の仕組み ○新聞の利用 ○インターネットの利用	○家庭や地域、学 校生活での学習な どで感じたことや 考えたことから書 くことを選ぶ ※FORふるさと郷 田・江津・島根	○話し手の目的や自分が 聞こうとする意図に応じ て、話の内容を捉え、話 し手の考えと比較なが ら自分の考えをまとめる ・インタビュー	○参考図書 ・年鑑・統計書 ○映像 ○新聞 ○年表 ○地球儀	○ファイルやフォルダ の整理・検索 ○漢字かな交じり文 の読み ○電子メールの送受信 ○構図やアングルを工 夫した写真撮影 ○AND/OR/NOT検索 ○情報の正確性の検討	○予想や仮説を基 に解決の方法を考 え発想する ○より妥当な考 えをつくり出す	○文章全体の構成 を捉えて要旨を把 握する ○引用の仕方や出 典の示し方を理解 し使う ○著作権の理解 ○参考図書の明示	○文章と図表などを結びつけるなどして 必要な情報を見つける。 ○情報を分類したり関係付けたりして伝 えたいことを明確にする。 ○調査結果(グラフ・表)の特徴を読み とる ○原因や結果など情報と情報との関係に ついて理解する ○情報と情報との関連付けの仕方、図な どによる語句と語句との関係の表し方を 理解し使う	○データの収集や適切な手法の選択など 統計的な問題解決の方法を知る 円グラフ 帯グラフ 平均 ○目的に応じてデータを集めて分類整理 し、データの特徴や傾向に着目し、代表 値などを用いて問題の結論について判断 するとともにその妥当性について批判的 に考察する 代表値 度数分布 ○起こりうる場合を順序よく整理するた めの図や表の用い方を知る	○話の内容が明確 になるように、事 実と感想、意見と を区別するなど、 話の構成を考 える ○資料の活用 ○考えを広げたり まとめる	○筋道の通った文章 の構成や展開 ○簡単に書いたり詳 しく書いたりする ○事実と感想の区別 ○引用 ○図表やグラフの活 用	ポートの活用 ○単元の終わりだ けではなく、活動 のまとめごと に振り返る ○付けたい力を基 にしたルーブリッ クの活用 ○学習の過程と結 果を評価する

生活や地域・社会と結びつけた課題設定、見通し		試行錯誤を前提とした教科横断的な学習(1から5を行きつ戻りつして進む中で自己調整の力も育成)						概念理解に導くまとめ 付けたい力を視点とした振り返り				
学校図書館の支援	図書館クイズ	問いを決める思考 ツールの提供	情報提供者リスト	ファイル資料	リンク集の作成	関連する資料の提 供	情報カードの提 供・活用方法の指 導	思考ツールの提供 比較・ベン図	統計情報の記載されている図書資料	プレゼンの指導	報告文の指導	発展的なブックリ ストの提供
	オリエンテーション	広げる・マッピング	聞き取り資料の提供	必要部分の複写	検索PCの利用		引用・要約につい ての基本指導	分類・Xチャート、Yチャート	リンク集の作成	いろいろな発表の 紹介(成果物)	ポスター・新聞の 指導	成果物の展示・収 集
		・KJ法・KWLシート		リライト資料	遠隔教育			多面的に見る・くま手図	統計コンクール作品などの成果物	・実物	マルチメディア作 品制作支援	タブレットPCに よる動画撮影
		絞り込む・3点決め		探究の過程の明示	テレビ会議			関連づける・コンセプトマップ		・ペープサート		
		・ペンタゴンチャート		レファレンス				構造化する・ピラミッド図		・劇		
		読み聞かせによる導入支援		該当箇所の示唆(付箋貼り)						・フリップ など		評価の思考ルール の提供
		ブックトークによる導入支援		資料提供・レファレンスサービス						・絵本、紙芝居		
		テーマに沿った関連本の収集		図書館資料の検索・取り寄せ						・ポスター・展示		・PMIチャート

参考とした図書など
 ・学習指導要領
 ・全国SLA情報資源を活用する学びの指導体系表
 ・次の方氏の著作 堀川照代先生 塩谷京子先生
 ・江津市情報活用教育系統表
 ・松江市学び方指導体系表 鎌田和宏先生 桑田てるみ先生

フィールドワーク : 野外活動。研究室の外で行う採集・調査・研究など

ライブラリーワーク : 図書館活動

ラボワーク : 実験室・研究室・製作室での活動

レファレンスサービス : 図書館による調べ物支援 (情報・資料の検索・提供・回答など)

ルーブリック : 評価基準を観点と到達度による表として示したもの